

# FireAMP コネクタ サービスの有効化と無効化

## 目次

### [概要](#)

[Microsoft Windows の FireAMP コネクタ サービスを管理して下さい](#)

[コントロール パネル](#)

[コマンドプロンプト](#)

[ユーザインターフェイスとのサービスを停止して下さい](#)

[OSX の FireAMP コネクタ サービスを管理して下さい](#)

[Linux の FireAMP コネクタ サービスを管理して下さい](#)

[関連情報](#)

## 概要

この資料は FireAMP コネクタ サービスをいったんディセーブルにしてからイネーブルにするためにさまざまなメソッドを記述したものです。解決するとき、FireAMP コネクタ サービスをディセーブルにする必要があるかもしれません。なぜこれをする必要があるかもしれませんか少数の原因があります:

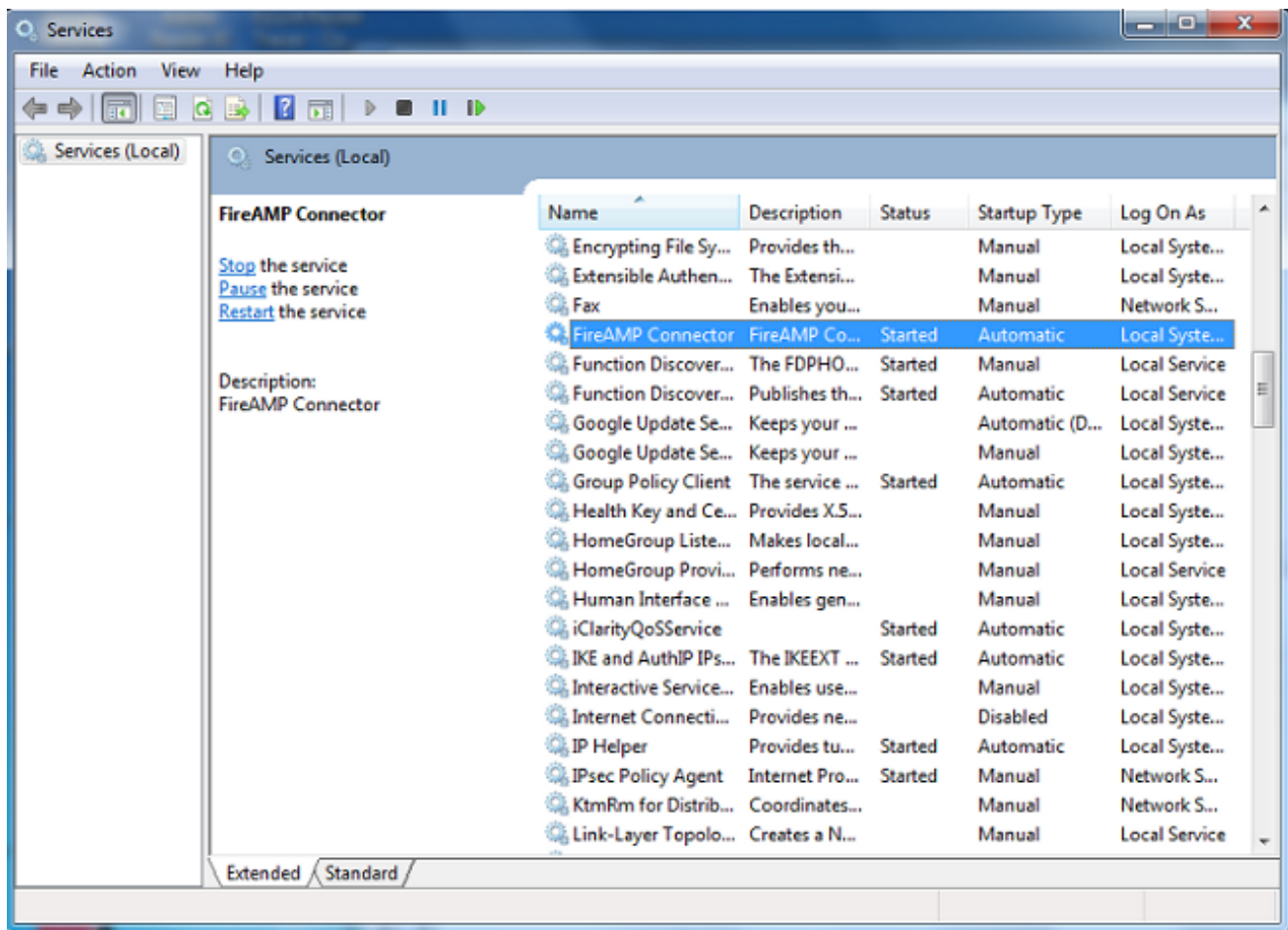
- 破損 データベースかログファイルを取除くため。
- エラー、破損したインストール、または不完全なインストールによる FireAMP コネクタをアンインストールするため。
- policy.xml ファイルを置き換えて下さい (高度なトラブルシューティング目的で)。

## Microsoft Windows の FireAMP コネクタ サービスを管理して下さい

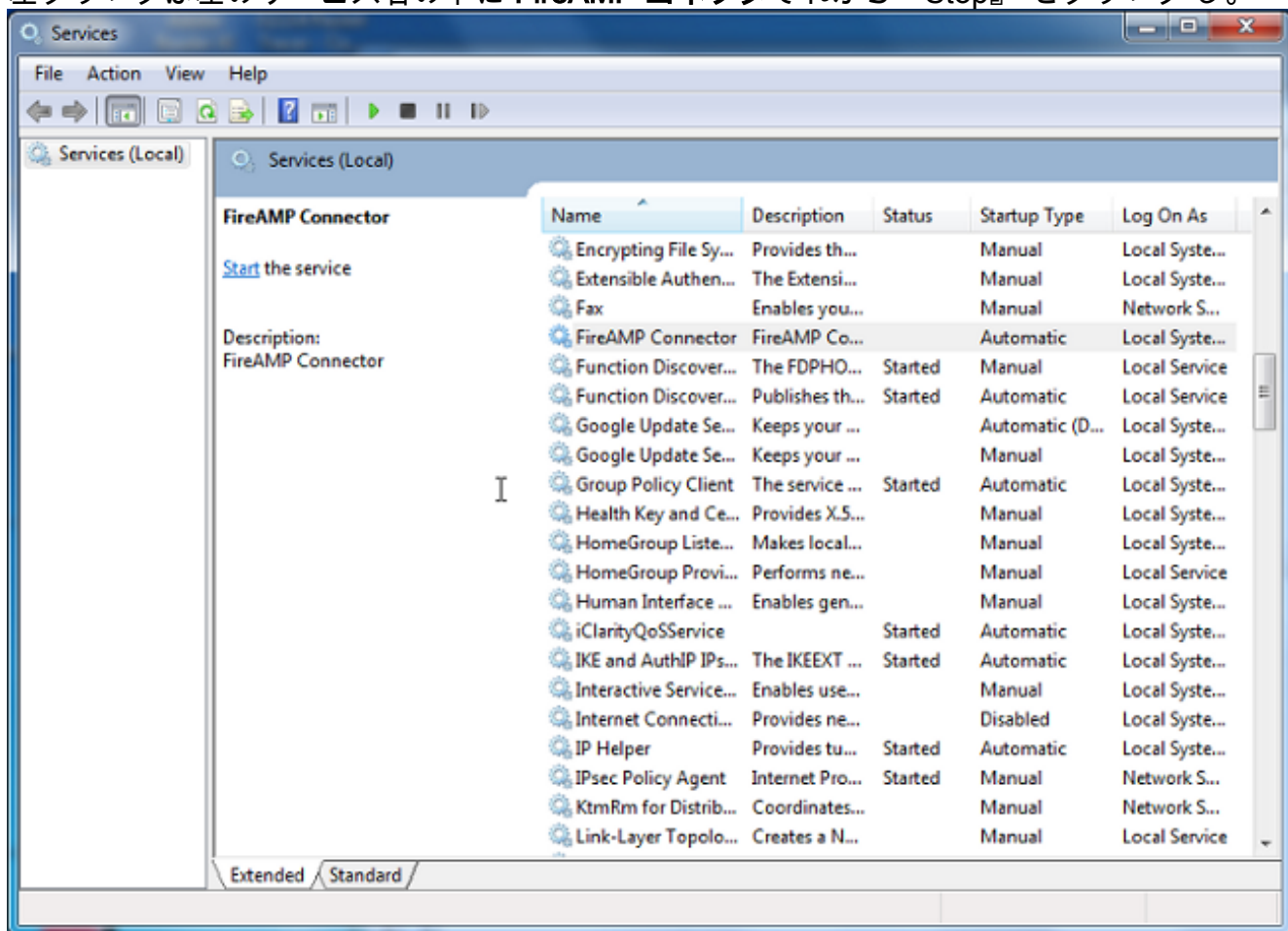
### コントロール パネル

FireAMP コネクタはコントロール パネルによって無効である場合もあります。コネクタをコントロール パネルによってディセーブルにするために、これらのステップを完了して下さい:

1. [Start] > [Control Panel] を選択します。
2. コントロール パネルで、**システムおよびセキュリティ**をクリックし、次に『Administrative Tools』をクリックして下さい。
3. **Services** をダブルクリックします。
4. **Services** ウィンドウでは、スクロールし、**FireAMP コネクタ サービス**を見つけて下さい。



5. 左クリックは左のサービス名の下に FireAMP コネクタそれから『Stop』をクリックし。

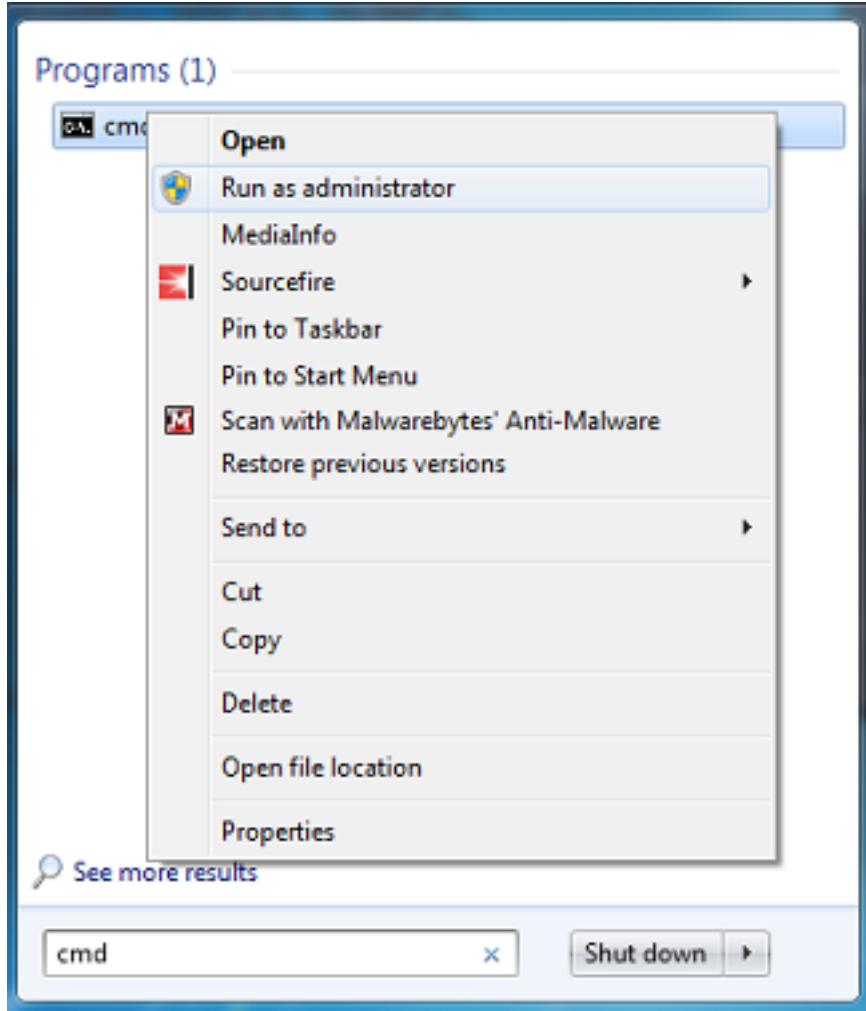


コマンドプロンプト

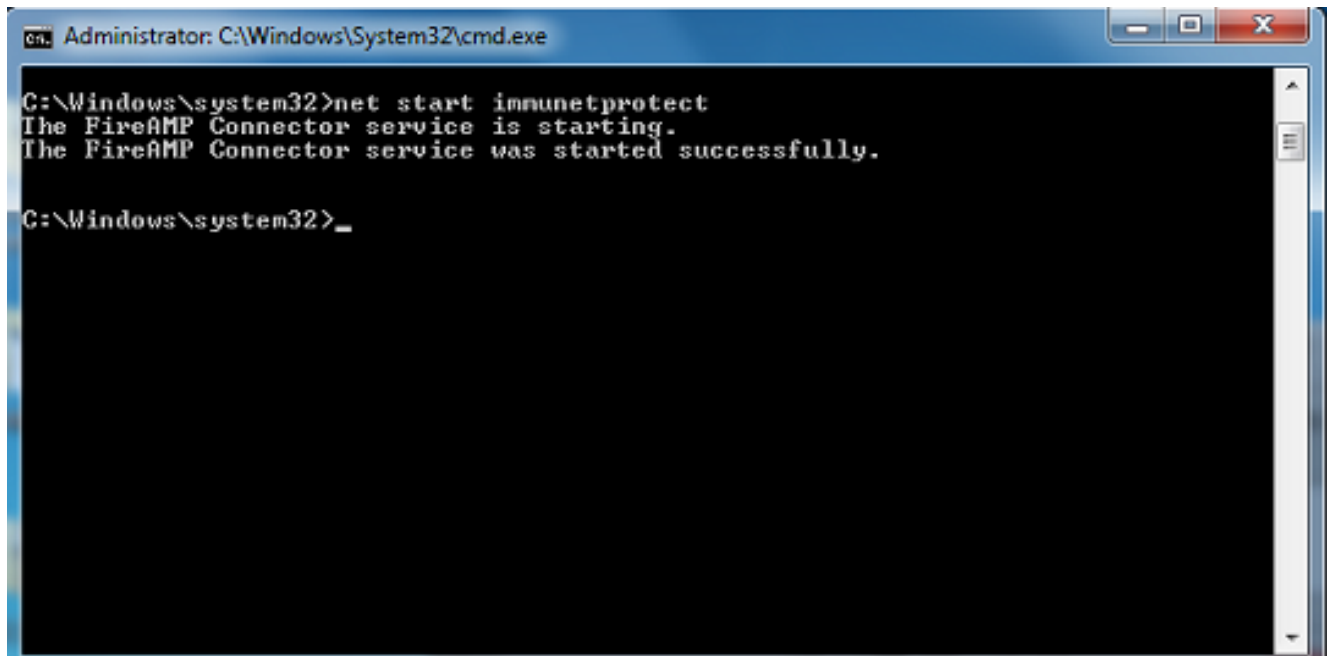
また FireAMP コネクタ サービスをディセーブルにするためにコマンド プロンプトを使用できません。

注: 管理者として cmd.exe プログラムを実行する必要があります。

1. Start メニューに行き、cmd.exe ファイルを見つけて下さい。
2. 管理者として右クリックし、『Run』を選択して下さい。



3. コマンド プロンプトで、FireAMP コネクタを停止するためにこのコマンドを入力して下さい: `C:\Windows\system32> net stop immunetprotect`
4. **NOTE: For connector versions 5.x and greater**  
`wmic service where "name like 'immunetprotect%'" call stopservice`
5. **NOTE: For connector versions 5.x and greater**  
`wmic service where "name like 'immunetprotect%'" call stopservice`
6. コネクタを再起動するために、このコマンドを入力して下さい: **NOTE: For connector versions 5.x and greater**  
`wmic service where "name like 'immunetprotect%'" call stopservice` コネクタが開始するとき、この出力は表示する。

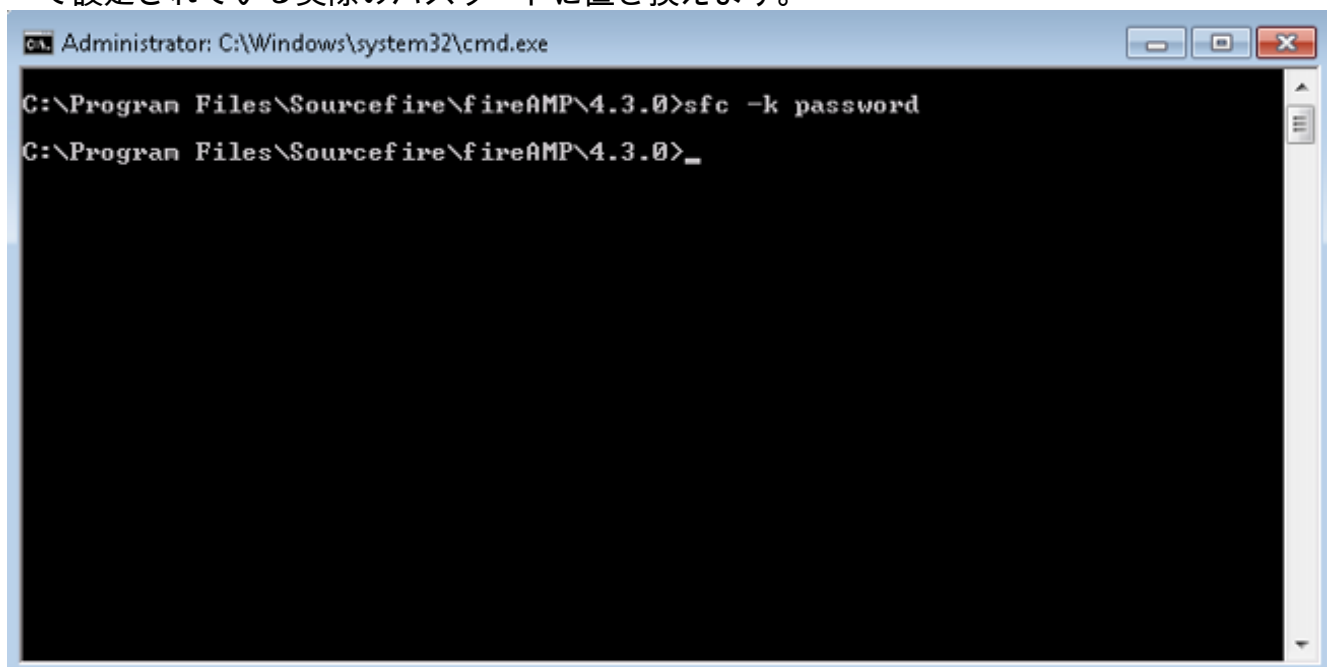


```
Administrator: C:\Windows\System32\cmd.exe
C:\Windows\system32>net start immunetprotect
The FireAMP Connector service is starting.
The FireAMP Connector service was started successfully.
C:\Windows\system32>_
```

注: これらのステップはコネクタ パスワード保護が有効になる場合はたつきません。保護パスワードをサービスを停止するために含むのに次のステップを使用して下さい。このコマンドは FireAMP コネクタのバージョン 4.3.0 および それ以降だけで動作します。

7. コマンド NOTE: For connector versions 5.x and greater

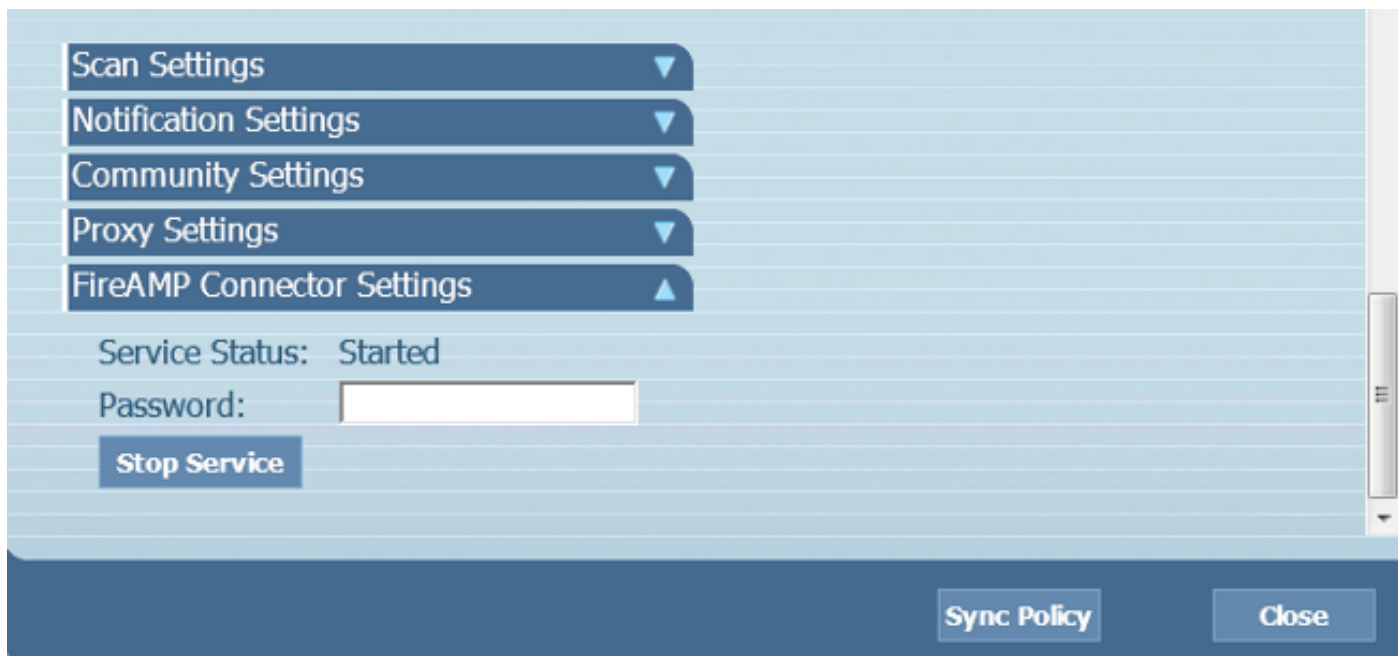
wmic service where "name like 'immunetprotect%'" call stopservice 「password」を、ポリシーで設定されている実際のパスワードに置き換えます。



```
Administrator: C:\Windows\system32\cmd.exe
C:\Program Files\Sourcefire\fireAMP\4.3.0>sfc -k password
C:\Program Files\Sourcefire\fireAMP\4.3.0>_
```

## ユーザインターフェイスとのサービスを停止して下さい

またユーザインターフェイスからパスワードによって保護されるサービスを停止できます。



## OSX の FireAMP コネクタ サービスを管理して下さい

OSX の FireAMP サービスをディセーブルにするために、ターミナルでこのコマンドを入力して下さい:

**NOTE: For connector versions 5.x and greater**  
wmic service where "name like 'immunetprotect%'" call stopservice

OSX の FireAMP サービスを有効にするために、ターミナルでこのコマンドを入力して下さい:

**NOTE: For connector versions 5.x and greater**  
wmic service where "name like 'immunetprotect%'" call stopservice

## Linux の FireAMP コネクタ サービスを管理して下さい

Linux の FireAMP サービスをディセーブルにするために、ターミナルでこのコマンドを入力して下さい:

**NOTE: For connector versions 5.x and greater**  
wmic service where "name like 'immunetprotect%'" call stopservice

Linux の FireAMP サービスを有効にするために、ターミナルでこのコマンドを入力して下さい:

**NOTE: For connector versions 5.x and greater**  
wmic service where "name like 'immunetprotect%'" call stopservice

## 関連情報

- [FireAMP コネクタのインストーラのコマンドライン スイッチ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)